



元 町

札幌市立元町中学校
学校だより 第4号
令和7年11月21日(金)
発行

～学校祭を振り返って～

第46回学校祭を開催しました。今年のテーマは「火華」です。「火華」は、熱く跳ね、弾ける火を花に見立てた言葉です。跳ね、弾ける姿は自立した自分を、火は生徒会スローガンの「火」を表しています。「弾けるように自立し、その後の姿が花のように美しくあってほしい」という願いを込めて、このテーマがつけられました。生徒たちは、ステージ・学級展示・装飾の各部門に分かれて活動し、今年度の3年生は、オープニング部門を担当し、さらに試行的に接客を伴う教室展示を企画・実施しました。もてなす側も来場者も互いに笑顔で交流している様子がとても印象的でした。



また、今年度もPTA役員および学級委員の保護者の皆さまのご協力により、昼食のバザーが行われました。生徒たちは多くのメニューの中から好みの料理を選び、楽しそうに味わっており、学校祭ならではの特別な雰囲気を満喫していました。以下に、各学年の様子を学校祭後の振り返りをもとにご紹介いたします。

学校祭を振り返って (1年生)

ステージ部門では、「桃太郎…。だけど何が違う?」というタイトルで、桃太郎が鬼退治の旅に出発しますが、金太郎や浦島太郎、猿蟹合戦まで登場し、最終的には鬼まで巻き込んで「ダンス」で決着するドタバタコメディのオリジナルストーリー。劇やダンス、小道具制作など、大変なこともありましたが、最後はみんなが満足できる発表ができました。

装飾部門は、前日まで大変でした。同じ作業をひたすら繰り返し、集中力をたくさん使いましたが、完成したときに達成感はとてもありました。学校祭は協力や団結力が求められるので、1人で進めるのではなく、みんなで進めていけるように意識しました。活動や準備をこの1日のために全力を尽くし、年に1回しかない特別な日になりました。

教室展示部門は、恐竜を展示しました。班ごとに情報を共有しながら活動しました。作業中に笑いが起きることもあって期間限定の班でしたが、楽しかったです。今まで何かを創りあげて見る人を喜ばすことはあまりなく、今回は貴重な経験になりました。



アイディアを大切に成長できた学校祭 (2年生)

私たち2年生は、去年の経験を生かしながら各部門の発表に取り組みしました。

教室展示部門では「ミニ青少年科学館」と「沖縄恐竜博物館」の展示をしました。ミニ青少年科学館では、5つの科学を学べるブースを用意しました。科学に親しみをもってもらうために、なるべく手に入りやすいもので作りました。沖縄恐竜博物館は、沖縄にあるジャングリアをオマージュした、沖縄と恐竜という異色のコラボでした。「上から吊るす」「大きく」などの一見定番な工夫が想像以上に恐竜の躍動感を演出しました。

装飾部門では「火華」をイメージした切り紙やハロウィンをイメージしたモザイクアート、コットンボールなどを準備しました。どれも地道な作業でしたが、細部までこだわられた作品だからこそより学校祭の高揚感を高められました。

ステージ部門では「君に届け、クリスマスソング」を上演しました。この劇は濱野先生脚本のクリスマスを舞台にした甘酸っぱい話です。告白するシーンでは大きな歓声が上がりました。

どの部門でも一人ひとりが自分の役割を果たし、全員で力を合わせて学校祭を盛り上げることができました。意見を出し合い、協力しながら完成させた時間は、私たちにとって大きな宝物です。この経験を大切に、これからも仲間と共に成長していきたいです。

各部門の振り返りをまとめて… (3年生)

3年生では、オープニング、教室展示、ステージ発表、装飾部門の4つの部門に取り組みました。3年生にとっては、これが最後の学校祭であり、これまでの集大成でもありました。

オープニングでは、他の部門でもそうでしたが、学力テストなどもあり時間がなく、大変でした。しかし、仲間と協力して準備や練習を進めることで、どうぶつの森をモチーフにしたオープニングや、タヌキ商店の背景が少しずつ完成していきました。短い時間の中で、分担して動くことや声をかけ合う大切さを実感できたのは、とてもいい経験になりました。準備の過程で意見がぶつかることもありましたが、それを乗り越えて一つのもので作り上げる達成感も味わうことができました。最後の学校祭という特別な時間だからこそ、仲間との一つひとつのやり取りも、より心に残るものでした。

教室展示部門では、今年度からの新しい試みとして、接客を伴う展示に挑戦しました。展示の準備だけでも大変でしたが、来てくれた人に説明するのはさらに緊張しました。しかし、来場者が興味を持ってくれたり、「アトラクションも楽しかった」と言ってもらえたりしたとき、とても嬉しかったです。普段の授業では味わえない緊張感や楽しさを体験でき、相手に伝える力の大切さも学びました。

映画「リメンバーミー」を題材にしたステージ発表では、セリフや振り付けを覚えるのが大変でしたが、みんなで意見を出し合いながら練習を重ねる中で、チームワークの大切さを学ぶことができました。本番では緊張しましたが、集中して楽しむことができ、達成感を味わうことができました。練習中に失敗しても励まし合ったことで、仲間の大切さも改めて実感できました。最後の学校祭でのステージ発表は、3年間の思い出と努力をすべて出し切る場となり、特別な達成感を感じることができました。

装飾部門では、体育館の会場全体をより華やかに見せるために、レイアウトやロール紙を工夫しました。どの位置に何を置くと見栄えが良くなるか、仲間と相談しながら決めるのはとても嬉しかったです。来てくれた人が「すごい！」と言ってくれた瞬間、努力が報われた気がして嬉しかったです。装飾を通して、細かいところまで気を配ることや、全体のバランスを考える大切さを学びました。また、飾り付けの過程でアイデアを出し合う楽しさも感じることができました。

この学校祭を通して、時間がない中でも協力すればできることや、新しいことに挑戦する楽しさ、そして仲間と一緒に達成感を味わえる喜びを学ぶことができました。3年生最後の学校祭は、これまでの努力と仲間との絆を改めて実感できる、特別で忘れられない経験となりました。この経験を、これからの学校生活や様々な活動に活かしていきたいです。



★12月のおもな行事予定★

～ 3日(水)	教育相談	22日(月)	学習振返り DAY
4日(木)	会議日・部活動制限日		部活動休養日
5日(金)	期末懇談(完全下校)	23日(火)	職員会議・完全下校
～ 12日(金)		24日(水)	研修会・完全下校
15日(月)	会議日・部活動制限日	25日(木)	2学期終業式
16日(火)	常局会・全協		完全下校
			部活動休養日

